

JSS F4 Scholarship Report



JSSスカラシップドライバー(S-FJからF4へのスカラシップ)山下健太選手のF4レース参戦レポート

2013年JAF地方選手権F4東日本シリーズ第1戦
大会名 もてぎチャンピオンカップレース
期日 2013年3月17日
開催場所 ツインリンクもてぎ
参加台数 14台

昨年のS-FJ日本一決定戦でJSSスカラシップドライバーに決定した山下健太選手のF4デビューレースとなるF4東日本シリーズの開幕戦は“ツインリンクもてぎ”での開催で、参加台数は14台で戦われた。山下選手は初めてのF4参戦ながら練習走行から石川選手と競うように好タイムを出していた。

■公式予選 1位

天候は晴れ、ドライコンディションの中、公式予選は8時から行われたが、まだ路面温度が低く、また予選時間が昨年までの20分から15分へと短くなったので、各車タイヤへの熱入れと、予選の終盤でのタイム競争に備えた。山下選手は一番にコースインすると、急激な熱入れを避けてゆっくりしたペースから徐々にペースを上げていく。毎周ラップタイムは上がってゆき、7周目に1'52.1を叩き出す。ライバルとなる石川選手は1'52.4だ。そして計測最終ラップに、もう少しタイムを刻むべくアタックするが、細かなミスがあり、タイムアップはならなかった。しかし石川選手に0.27秒差を保ち、F4初レースながら見事にポールポジションを獲得した。

順位	車番	ドライバー	機種名	車名	タイム
1	14	山下 健太	ZAP F108	ZAP・J.S.S.・PFC	1'52.134
2	12	石川 京侍	KK-ZS	佐藤製作所☆Rn-S ミスト ZS	1'52.409
3	7	山口 大陸	F108	TAIROKU F108	1'52.507
4	10	加藤 智	RK01	FEEL・RK01・TODA	1'53.110
5	3	中山 雅佳	RK01	HITACHI BK RK01	1'53.363
6	34	三浦 勝	MC-090	CMS090	1'54.314

■決勝レース 2位

決勝スタートは11時24分。晴天のもとスタートは切られた。ポールを獲得した山下選手はスタートが勝負の鍵になるとの思いで臨んだ。しかしF4の初レースということもあり、ベストスタートが切れず、予選2位の石川選手が1コーナーまでにインに並ぶ。そのまま2車は並んでコーナリングするが山下選手は踏ん張り切れず、石川選手が2コーナー立ち上がりでは先頭に立つ。タイヤが冷えている状態でのコントロールに自信のある山下選手は何度かアプローチを仕掛けるものの、抜くまでには至らない。その後も石川選手と山下選手はテールトゥノーズの状態でもツブ争いを続ける、3位には山口選手、そして加藤選手と続く。山下選手はF4がダウンフォースの影響によりS-FJの時のようにオーバーテイクが容易でないことを味わいつつ、完全に押さえ込まれた形になってしまう。コーナリングスピードでは勝っていることは確認出来ているが、しかし、最後までトップの石川選手の横に並ぶまでには至らず、2位でチェッカーを受けた。トップ争いを繰り広げた、この2車からは少し離れて3位に山口選手、加藤選手、中山選手が続き、6位は予選7位の阿部選手が入った。F4の初レースで予選1位、決勝2位は十分な結果であるが、山下選手はスタートを決められなかったことが反省点として、今後の課題となった。

順位	車番	ドライバー	機種名	車名	周回	タイム
1	12	石川 京侍	KK-ZS	佐藤製作所☆Rn-S ミスト ZS	12	22'40.966
2	14	山下 健太	ZAP F108	ZAP・J.S.S.・PFC	12	22'41.840
3	7	山口 大陸	F108	TAIROKU F108	12	22'48.362
4	10	加藤 智	RK01	FEEL・RK01・TODA	12	22'52.740
5	3	中山 雅佳	RK01	HITACHI BK RK01	12	22'54.839
6	24	阿部 拓馬	RK01	ガレージ茶畑 RK01	12	23'09.622